

到達目標

ドメイン名:ITI

シラバス内容の区分(3段階)

(A)十分に理解すべき項目(他人に説明できるレベル)

(B)内容を知っている項目(説明はできないが、内容を理解しているレベル)

(C)その他や補足事項

(D)赤文字は、2026年度の変更点

番号	大項目	項目	A	B	C
1.	基礎知識	物理ネットワークに関する知識 (OSI 参照モデル第 1 層および第 2 層) ・100BASE-TX など ・Ethernet など	○		
2.		下位通信プロトコルに関する知識 (OSI 参照モデル第 3 層および第 4 層) ・IP など ・TCP など	○		
3.		Web サービスに関する知識 (代表的な Web サービスに関する理解) ・SOAP ・REST	○		
4.		暗号化に関する知識 (暗号化技術と運用に関する基礎知識) ・TLS/SSL(公開鍵暗号と共通鍵暗号を組み合わせ て通信の安全性を確保) 共有鍵方式 ・AES (最も広く使われている) ・DES, 3DES 公開鍵方式: ・RSA (大きな数の素因数分解) ・ECC (楕円曲線上の離散対数問題) ハッシュ関数(改ざんされていないこと。完全性) SHA, MD5 デジタル署名(データの完全性と認証、否認防止)	○		
5.	ITI-TF	ITI-TF(Technical Framework)の範囲 ・TF で記述されている内容全般	○		
6.		ITI-TF の各 Volume における記載範囲 ・Volume の構成 ・Volume ごとの記載内容の違い	○		
7.		ITI ドメインの概要 (特定の領域に依らない共通的な業務) ・時刻同期 ・監査証跡保存 ・患者管理	○		
8.		ITI ドメインで使用している標準規格 ・HL7V2 ・HL7V3 ・HL7 FHIR(Fast Healthcare	○		

		Interoperability Resources) <ul style="list-style-type: none"> ・SAML(Security Assertion Markup Language) ・OAuth(Open Authorization) ・OIDC(OpenID Connect) ・SOAP ・XML ・ebXML 			
9.		Final Text と Trial Implementation の関係	○		
10.	統合 Profile	統合プロファイルを ABC 順に Sort してあります。			
11.		ATNA(Audit Trail and Node Authentication) <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション 	○		
12.		BPPC(Basic Patient Privacy Consents) <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション 		○	
13.		CT(Consistent Time) <ul style="list-style-type: none"> ・NTP 概要(Stratum, UTC) ・利用シーン ・アクタとトランザクション 	○		
14.		DSUB(Document Metadata Subscription) <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション 			○
15.		DSUBm(Document Subscription for Mobile) <ul style="list-style-type: none"> ・概要:RESTful/FHIR R4, ・利用シーン ・アクタとトランザクション 		○	
16.		EUA(Enterprise User Authentication) <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション 		○	
17.		IUA(Internet User Authorization) <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・OAuth 2.1、Token、Authorization Server、Authorization Client、Resource Server 		○	
18.		MHD(Mobile Access to Health Documents) <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション 	○		
19.		MHDS(Mobile Health Document Sharing) <ul style="list-style-type: none"> ・概要 		○	
20.		MPQ(Multi-Patient Queries) <ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・利用シーン 			○

		・アクタとトランザクション			
21.		NPFS(Non-patient File Sharing)			○
22.		PAM(Patient Administration Management) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
23.	PDQ Family	PDQ, PDQV3, PDQm		○	
24.		PDQ(Patient Demographics Query) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
25.		PDQV3(Patient Demographic Query HL7 V3) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
26.		PDQm ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション		○	
27.		PIX(Patient Identifier Cross-Referencing) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
28.		PIXV3(Patient Identifier Cross-Reference HL7 V3) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
29.		PSA(Patient Synchronized Applications) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション			○
30.		PWP(Personnel White Pages) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション			○
31.		RFD(Retrieve Form for Data Capture) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション		○	
32.		RID(Retrieve Information for Display) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション			○
33.		SVCM(Sharing Valuesets, Codes, and Maps) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション HELICS 指針:用語とコード共有のための技術仕様 (SVS,SVCM)		○	

34.		SVS(Sharing Value Sets) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション HELICS 指針:用語とコード共有のための 技術仕様 (SVS,SVCM)		○	
35.		XCA(Cross-Community Access) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
36.		XCPD(Cross-Community Patient Discovery) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
37.		XDM(Cross-Enterprise Document Media Interchange) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション		○	
38.		XDR(Cross-Enterprise Document Reliable Interchange) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
39.		XDS.b(Cross-Enterprise Document Sharing) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション	○		
40.		XDS-SD(Cross-Enterprise Sharing of Scanned Documents) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション		○	
41.		XDW(Cross-Enterprise Document Workflow) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション			○
42.		XUA(Cross-Enterprise User Assertion) ・概要 ・利用シーン ・アクタとトランザクション		○	
43.	Trial Implemen- tation	上記以外の Trial Implementation の 内容 (TF の本体にふくまれていない Supplement)			○

●以下の統合プロファイル(Supplement)は、ITI ドメインではないが、ITI と関連が深いと思われるので、リストアップしています。

番号	大項目	項目	A	B	C
1.	PCC(注1)	QED(Query for Existing Data)			○

2.	PCC(注1)	QEDm(Query for Existing Data for Mobile)			○
3.	QRPH(注2)	mRFD(Mobile Retrieve Form for Data Capture)			○

(注1:Patient Care Coordination Technical Framework)

(注2:Quality, Research and Public Health Technical Framework)

以上